

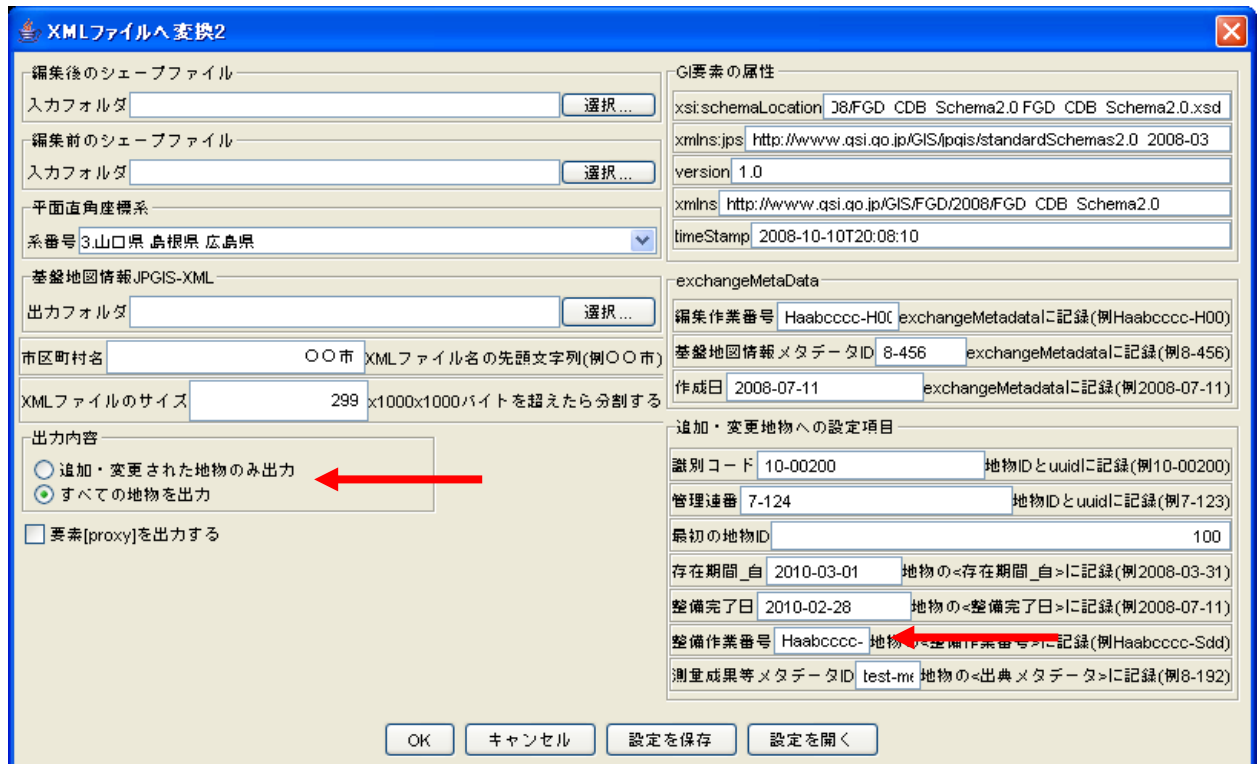
# 基盤地図情報作成検査ツール バージョン 1.43 更新記録

2010/03/05  
有限会社ジオ・コーチ・システムズ  
<http://www.geocoach.co.jp/>  
[info@geocoach.co.jp](mailto:info@geocoach.co.jp)

## 1. XML ファイルへ変換 2

メニュー[基盤地図情報]-[XML ファイルへ変換 2] に「整備作業番号」の指定を追加しました。

メニュー[基盤地図情報]-[XML ファイルへ変換 2] に追加・変更された地物のみを出力する機能を追加しました。



## 2. 基盤地図情報 XML 作成

メニュー[基盤地図情報]-[基盤地図情報 XML 作成]で緯度経度で記録されているシェープファイルに対応しました。

**基盤地図情報XML作成**

シェープファイル  
 入力フォルダ  選択...

シェープファイルの座標系  
 平面直角座標系  十進緯度経度 ←

平面直角座標系  
 系番号 3 山口県 島根県 広島県

基盤地図情報JPGIS-XML  
 出力フォルダ  選択...

その他  
 市区町村名  ○○市 XMLファイル名の先頭文字列(例○○市)  
 最初の地物ID  1  
 XMLファイルのサイズ  299 x1000x1000バイトを超えたら分割する  
 編集前フォルダ  選択...  
 要素[所属三次メッシュ]は出力しない  
 [名称]中のセミコロンをカンマにする

共通項目(GI要素の属性)  
 xsi:schemaLocation D:\2008\FGD\_CDB\_Schema2.0\FGD\_CDB\_Schema2.0.xsd  
 xmlns:jpgis http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas2.0\_2008-03  
 xmlns http://www.gsi.go.jp/GIS/FGD/2008/FGD\_CDB\_Schema2.0  
 version 1.0  
 timeStamp 2008-10-10T20:08:10

共通項目(1)  
 識別コード 10-00200 地物IDとuuidに記録(例10-00200)  
 管理番号 7-123 地物IDとuuidに記録(例7-123)  
 編集作業番号 Haabcccc-H00 exchangeMetadataに記録(例Haabcccc-H00)  
 基盤地図情報メタデータID 7-345 exchangeMetadataに記録(例8-456)  
 作成日 2008-07-11 exchangeMetadataに記録(例2008-07-11)  
 存在期間\_自 2008-03-31 地物の<存在期間\_自>に記録(例2008-03-31)  
 整備完了日 2008-03-31 地物の<整備完了日>に記録(例2008-07-11)  
 行政コード 行政コードtest シェープファイルの属性がなければ設定する

共通項目(2)  
 作業単位は複数  
 作業単位のポリゴンシェープファイル 地図情報\inout5\図郭.shp 選択...  
 整備作業番号 Haabcccc-Sdd 地物の<整備作業番号>に記録(例Haabcccc-Sdd)  
 測量成果等メタデータID 8-192 地物の<出典メタデータ>に記録(例8-192)

OK キャンセル 設定を保存 設定を開く